

人口推計報告書

令和6年3月

毛呂山町

目次

はじめに	1
1. これまでの人口推計について	2
(1) 毛呂山町人口ビジョン（平成27年8月策定）	2
(2) 第五次毛呂山町総合振興計画後期基本計画及び第2期毛呂山町総合戦略策定時に おける人口動向の状況と見通し（令和2年3月策定）	2
2. 将来人口の見通し	3
(1) 国勢調査人口	3
(2) 住民基本台帳人口	4
3. 人口推計について	5
(1) 毛呂山町の人口推移	5
(2) 推計期間	6
(3) 推計の基準人口及び推計方法	6
(4) 推計の条件	6
(5) 推計方法のまとめ	14
(6) 推計結果	15
ア 国勢調査人口	15
イ 住民基本台帳人口	21
(7) 住民基本台帳基準による出生数の推移	27
(8) 日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）	28

はじめに

平成27(2015)年8月、2060年の戦略人口を24,509人とする人口ビジョンを策定し、総合戦略に掲げた様々な施策を実施してきました。また、令和2年(2020)3月に策定した第五次毛呂山町総合振興計画後期基本計画及び第2期毛呂山町総合戦略を策定する際には、直近の国勢調査人口の結果やその後の人口動向を踏まえた趨勢人口の見直しを実施しています。

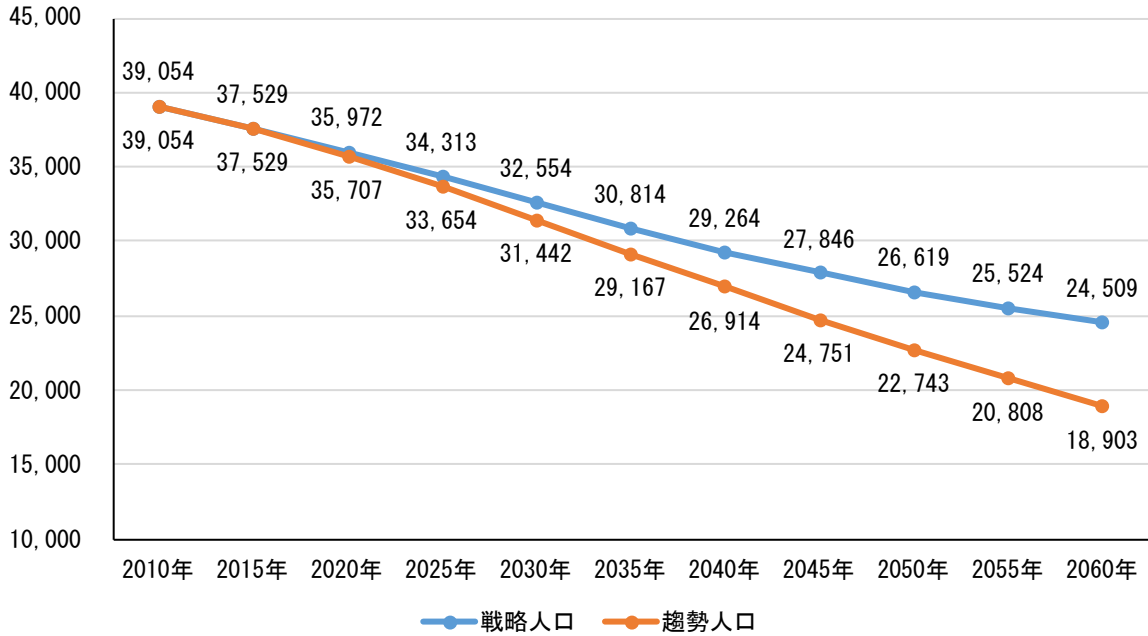
今般、その後の人口推移や2020年の国勢調査人口、また合計特殊出生率の推移などを踏まえ、新たに人口推計を実施いたしました。

1. これまでの人口推計について

(1) 毛呂山町人口ビジョン（平成27年8月策定）

少子高齢化、転出超過といった本町の課題に対して、長期的視点から取り組むことにより、2060年において24,500人程度の人口規模を目指すこととしました。

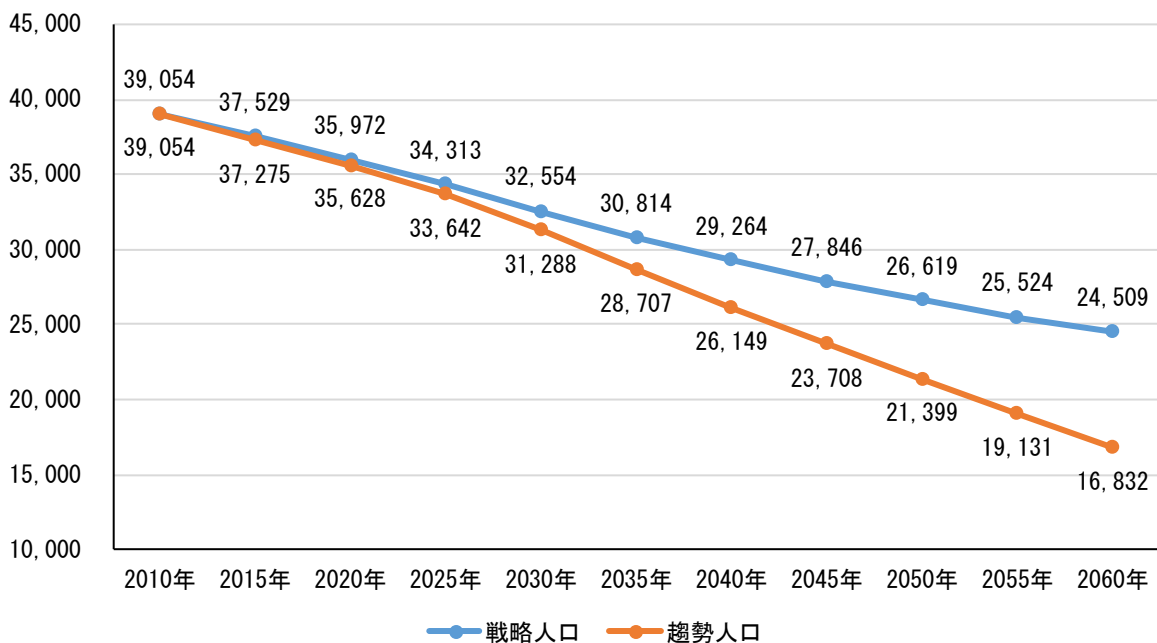
総人口（単位：人）



(2) 第五次毛呂山町総合振興計画後期基本計画及び第2期毛呂山町総合戦略策定時における人口動向の状況と見通し（令和2年3月策定）

平成27年（2015年）の国勢調査人口やその後の人口動向を踏まえ、毛呂山町の趨勢人口（今後の人口政策の取り組みを想定しない場合の人口）を修正しました。

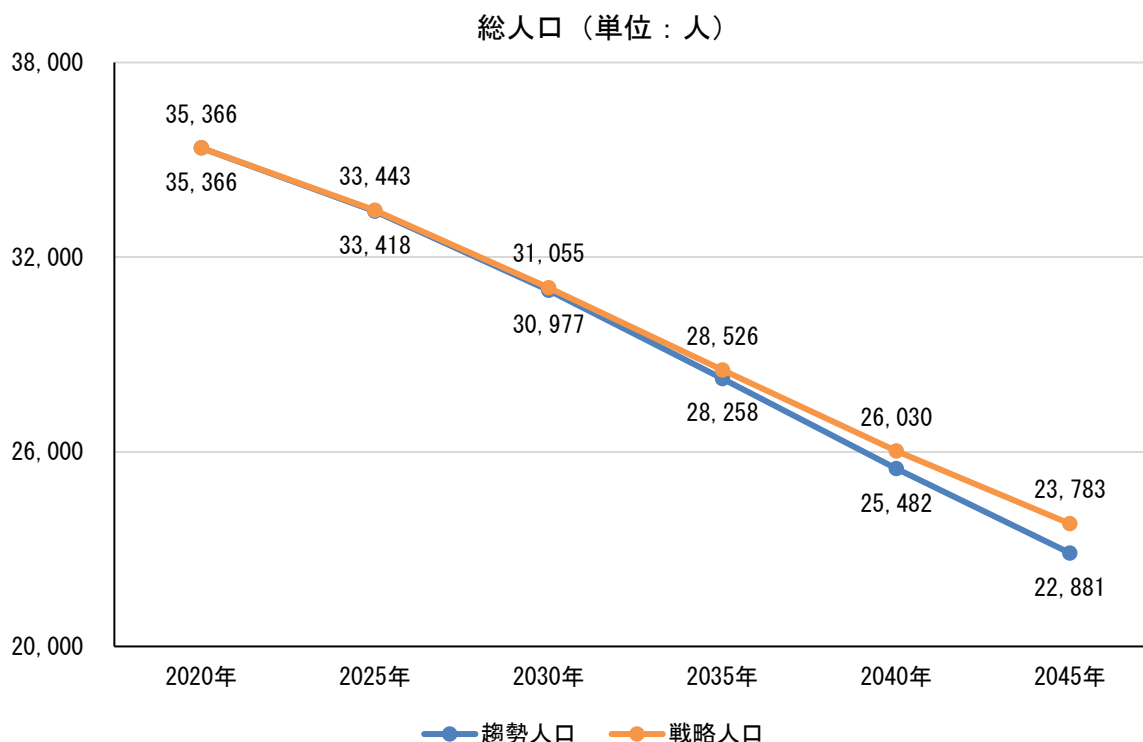
総人口（単位：人）



2. 将来人口の見通し

(1) 国勢調査人口

ア 将来人口の見通し



イ 推計の条件

(ア) 趨勢人口について

以下の条件に基づき、推計を行いました。

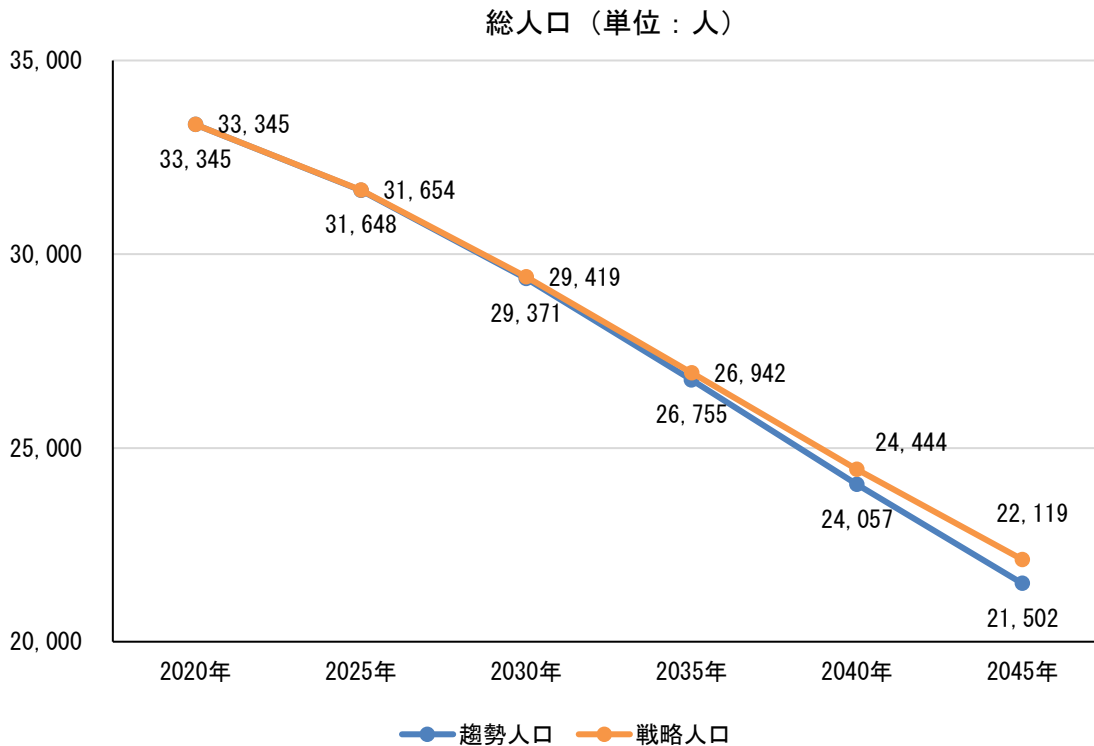
合計特殊出生率	2022年の毛呂山町合計特殊出生率0.68を子ども女性比に換算して使用します。
移動率	国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）が算出した2020年から2025年の仮定値と、毛呂山町における2005年から2020年までの国勢調査3区間の平均値を平均して使用します。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・生残率は、社人研の2020年から2025年の仮定値を使用します。 ・人口性比（生まれてくる子どもの、男性と女性の割合）は、社人研の仮定値を使用します。 ・0歳～4歳児の子ども数は、合計特殊出生率を子ども女性比に換算した割合を用いて算出します。

(イ) 戦略人口について

以下の条件に基づき、推計を行いました。

	2020年～	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
合計特殊出生率	0.70	0.71	0.75	0.76	0.76	0.77
	上記の値を子ども女性比に換算して使用します。					
移動率	趨勢人口の移動率の内、30～34→35～39歳以下で転出超過（マイナスの年齢層）となっている年齢層の移動率が、2050年以降半減するよう、2030年以降5年ごとに1/10改善します。					
その他	趨勢人口と同じ条件を使用します。					

(2) 住民基本台帳人口
ア 将来人口の見通し



イ 推計の条件

(ア) 趨勢人口について

以下の条件に基づき、推計を行いました。

合計特殊出生率	2022年の毛呂山町合計特殊出生率0.68を使用します。
移動率	2019年の男女別・年齢別の人口を基準に、2023年までの4年間の各移動率を算出し、4年間の平均移動率を使用します。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生残率は、埼玉県の男女別、年齢別生残率を使用します。 ・ 人口性比（生まれてくる子どもの、男性と女性の割合）は、男性：女性＝1.05544：1 ・ 0歳児の人口は、4月から3月の1年間の出生数と4月1日の0歳児の実数の変化割合から算出します。 ・ 100歳以上の人口は、99歳以上人口の100歳以上への変化率を使用します。

(イ) 戦略人口について

以下の条件に基づき、推計を行いました。

	2020年～	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
合計特殊出生率	0.70	0.71	0.75	0.76	0.76	0.77
移動率	趨勢人口の移動率の内、40歳以下で転出超過となっている年齢の移動率が2050年以降半減するよう、2025年以降5年ごとに改善させていきます。					
その他	趨勢人口と同じ条件を使用します。					

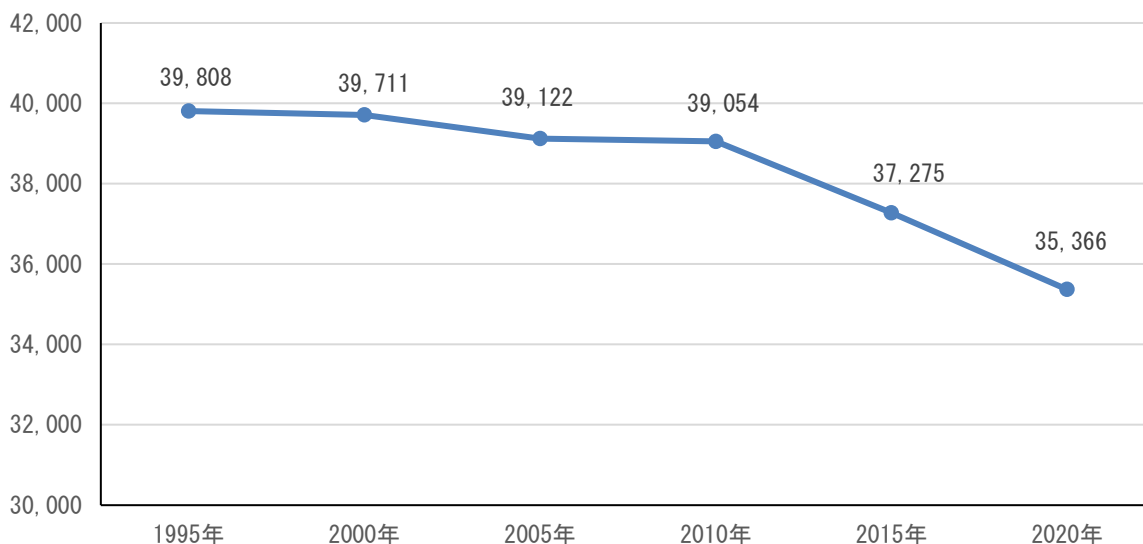
3. 人口推計について

(1) 毛呂山町の人口推移

毛呂山町の国勢調査人口及び住民基本台帳人口の推移は、以下のとおりです。2020年の国勢調査人口と住民基本台帳人口を比較すると、国勢調査人口が約2,000人多くなっています。

【国勢調査人口】

国勢調査人口推移（単位：人）



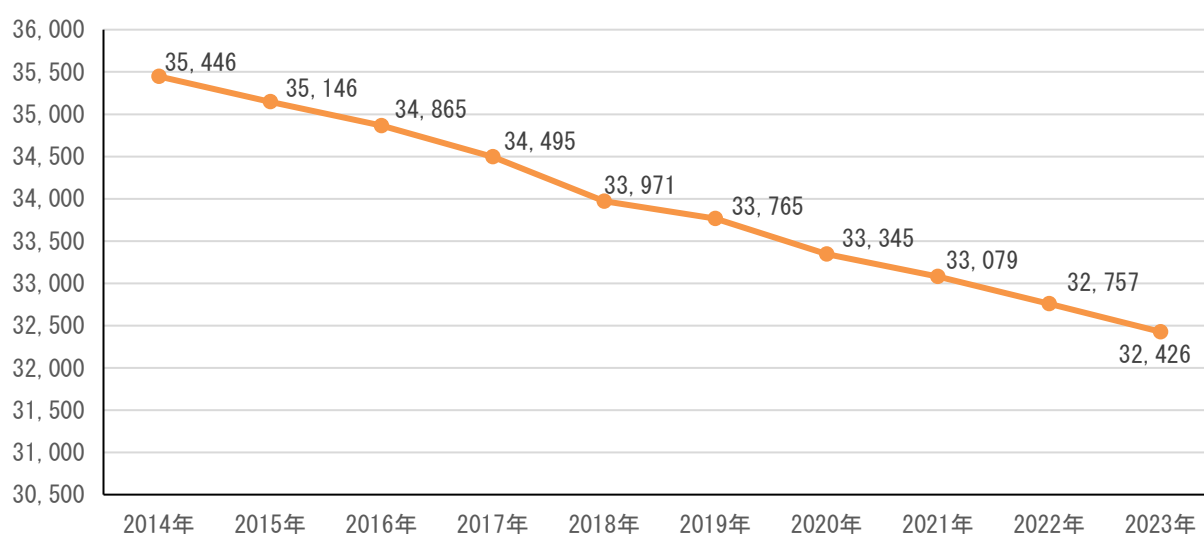
(単位：人)

1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
39,808	39,711	39,122	39,054	37,275	35,366

※各年10月1日時点

【住民基本台帳人口】

住民基本台帳人口推移（単位：人）



(単位：人)

2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
35,446	35,146	34,865	34,495	33,971	33,765	33,345	33,079	32,757	32,426

※各年4月1日時点

(2) 推計期間

今回の推計期間は、2025年（令和7年）から2045年（令和27年）までとします。

(3) 推計の基準人口及び推計方法

人口推計は、国勢調査人口基準と住民基本台帳人口基準の2種類の推計を行います。それぞれの基準日は、以下のとおりです。

- ・国勢調査人口基準：令和2（2020）年10月1日基準（5年ごとの推計）
- ・住民基本台帳人口基準：令和5（2023）年4月1日基準（1年ごとの推計）

上記2つの基準に対して、それぞれ低位推計・中位推計・高位推計の3種類の推計を行います。また、趨勢人口の推計も併せて行います。

(4) 推計の条件

毛呂山町人口ビジョンを策定するにあたり、設定した推計条件は以下のとおりです。

ア 合計特殊出生率

過去10年間における国、埼玉県及び毛呂山町の合計特殊出生率は以下のとおりです。

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
国	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33	1.30	1.26
埼玉県	1.33	1.31	1.39	1.37	1.36	1.34	1.27	1.27	1.22	1.17
毛呂山町	0.86	0.86	0.98	0.87	0.85	0.76	0.73	0.76	0.75	0.68

過去10年間の毛呂山町の合計特殊出生率は、1以下かつ近年低下傾向にあり、国や県の数値を大きく下回っている状況であり、出生率の改善が大きな課題となっています。

今回の推計にあたっては、これまでの推移などを踏まえ、社人研が行っている将来人口推計（令和5年推計）に使用している合計特殊出生率（低位・中位・高位）と、毛呂山町の合計特殊出生率が将来的に同幅で推移するものとして推計します。

2022年の国の合計特殊出生率 1.26 と毛呂山町の合計特殊出生率 0.68 の差分である 0.58（0.5761）を基準とします。

人口推計で用いる合計特殊出生率

	2020年～	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
高位	0.76	0.90	0.98	1.02	1.03	1.04	1.05	1.05	1.05	1.06
中位	0.70	0.71	0.75	0.76	0.76	0.77	0.77	0.77	0.78	0.78
低位	0.64	0.54	0.55	0.53	0.53	0.54	0.54	0.55	0.55	0.55

※ 算出方法（2025年の中位の場合）

$$1.28746（社人研仮定値） - 0.58（国と毛呂山町の差分） \div 2 = 0.71$$

【参考】

○社人研仮定値（2025年以降は、5年間の平均値）

	年	中位	高位	低位
実績	2020	1.3298	1.3298	1.3298
実績	2021	1.3028	1.3028	1.3028
実績	2022	1.2565	1.2565	1.2565
	2023	1.2251	1.3721	1.0891
	2024	1.2681	1.4276	1.1206
	平均	1.2765	1.3378	1.2198
	2025	1.28746	1.47386	1.11738
	2030	1.3257	1.55748	1.12148
	2035	1.33378	1.59618	1.11084
	2040	1.33562	1.60942	1.1073
	2045	1.3415	1.61728	1.11252
	2050	1.34708	1.6221	1.11882
	2055	1.34966	1.62474	1.1212
	2060	1.35154	1.6279	1.12204
	2065	1.3549	1.6329	1.12412

○推計に使用する毛呂山町の合計特殊出生率

年	中位	高位	低位
2020～	0.70	0.76	0.64
2025	0.71	0.90	0.54
2030	0.75	0.98	0.55
2035	0.76	1.02	0.53
2040	0.76	1.03	0.53
2045	0.77	1.04	0.54
2050	0.77	1.05	0.54
2055	0.77	1.05	0.55
2060	0.78	1.05	0.55
2065	0.78	1.06	0.55

(ア) 国勢調査に基づく推計

国勢調査は5年ごとに実施されるため、0歳～4歳児の子どもの数は、子ども女性比より推計します（子ども女性比：日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）に従い、20歳～44歳までの女性の数に対する、0歳～4歳児の子どもの数の割合とします）。

今回の推計に使用する合計特殊出生率を子ども女性比に換算する割合を、社人研の推計する出生中位・死亡中位推計に使用している合計特殊出生率の5年平均と、5年ごとの子ども女性比の割合から計算します。

（単位：1000人）

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
0～4歳児の人数（A）	4,541	3,952	3,865	3,832	3,680	3,472
20歳～44歳女性の人数（B）	17,343	16,160	15,435	15,002	14,459	13,553
子ども女性比（C=A/B）	0.26185	0.24458	0.25037	0.25540	0.25451	0.25620
平均合計特殊出生率（D）		1.28746	1.3257	1.33378	1.33562	1.3415
換算率（D/C）		5.26395	5.29487	5.22233	5.24775	5.23620

	2050年	2055年	2060年	2065年
0～4歳児の人数（A）	3,212	2,936	2,746	2,645
20歳～44歳女性の人数（B）	12,719	11,948	11,207	10,629
子ども女性比（C=A/B）	0.25255	0.24571	0.24500	0.24883
平均合計特殊出生率（D）	1.34708	1.34966	1.35154	1.3549
換算率（D/C）	5.33392	5.49286	5.51660	5.44502

国勢調査基準の0歳～4歳児の子どもの数は、低位・中位・高位推計に使用する合計特殊出生率と上記換算率を用いて推計します。

(イ) 住民基本台帳に基づく3推計の基準となる年齢階層別合計特殊出生率

毎年の出生数を、合計特殊出生率（母親の年齢階層別）より推計します。

合計特殊出生率は、母親の年齢別の出生率の和であることから、年齢階層別の割合を算出します。

平成30年から令和4年の5年間の母親の年齢階層別出生率の平均値を使用します。

数値の算出には、埼玉県合計特殊出生率の年次推移（市町村別）を使用します。

母親の年齢階層別合計特殊出生率

(単位：人)

	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	合計
子どもの数	7	66	145	175	123	26	1	543
母親の数	3,809	4,972	3,507	3,282	3,858	5,089	6,220	30,737
出生率	0.009189	0.066372	0.206729	0.266606	0.159409	0.025545	0.000804	0.734654

※子どもの数及び母親の数は5年間の累計

※出生率は子どもの数/母親の数×5（5歳階級のため）

イ 移動率

(ア) 国勢調査の移動率

社人研推計の2020年から2025年の移動率の仮定値と2005年から2020年の国勢調査3区間より求めた移動率の平均値を平均した、以下の値を使用します。

国勢調査の移動率

	移動率	
	男性	女性
0～4歳→5～9歳	0.09685	0.13268
5～9歳→10～14歳	0.02052	0.00887
10～14歳→15～19歳	0.28485	0.31847
15～19歳→20～24歳	0.30921	0.49093
20～24歳→25～29歳	-0.39825	-0.43546
25～29歳→30～34歳	-0.12827	-0.20551
30～34歳→35～39歳	-0.02435	-0.02578
35～39歳→40～44歳	0.02707	-0.00256
40～44歳→45～49歳	0.02204	0.00832
45～49歳→50～54歳	-0.01309	0.00947
50～54歳→55～59歳	0.02660	0.00274
55～59歳→60～64歳	0.01768	0.01989
60～64歳→65～69歳	0.02065	0.00693
65～69歳→70～74歳	0.00314	0.01131
70～74歳→75～79歳	-0.01146	-0.00981
75～79歳→80～84歳	-0.03131	-0.02057
80～84歳→85～89歳	-0.06835	-0.01926
85～89歳→90～94歳	-0.01834	-0.04629
90歳～→95歳～	-0.00879	-0.01887

※ マイナス部分は転出超過

人口増減に大きな影響を与える移動率ですが、毛呂山町の場合は転出超過（数値がマイナスの年齢）が多く見られます。若い年齢層（特に女性）の人口が流出すると、出生数にも影響があることから、特に若い年齢層の転出を抑制し、転入者の増加を図る必要があります。

推計にあたっては、30～34→35～39歳以下の転出超過部分を改善させる方向で推計します。

	設定条件
低位推計	現状維持
中位推計	30～34→35～39歳以下で転出超過（マイナスの年齢）となっている年齢の移動率が、2050年以降半減するよう、2030年以降5年ごとに1/10改善します（2030年⇒2035年から改善し2050年以降半減）。
高位推計	30～34→35～39歳以下で転出超過（マイナスの年齢）となっている年齢の移動率が、2050年以降0（均衡）となるよう、2030年以降5年ごとに1/5改善します（2030年⇒2035年から改善し2050年以降0）。

※ 移動率について

(例) 国勢調査人口の移動率 (「20~24→25~29」の区分における女性の場合)

年	⇒	年
2030 まで		2050 以降
移動率		移動率
-0.43546		0

- 2050 年までに、2030 年の移動率 (-0.43546) を 0 (均衡) にする。
 $0.43546 \text{ (移動率)} \div 5 = 0.08709$
- 5 年間で 0.08709 ずつ転出超過を改善する。

年 度	~2030	2030→35	2035→40	2040→45	2045→50	2050 以降
移動率	-0.43546	-0.34837	-0.26128	-0.17418	-0.08709	0

(イ) 住民基本台帳の移動率

2019年4月の男女別・年齢別の人口を基準に、2023年までの4年間の移動人口を算出し、4年間の平均移動率を使用します（マイナスは転出超過）。なお、0歳児人口は年間出生数と基準日の0歳児人口の変化割合、100歳以上の人口は99歳以上の変化割合により算出します。

【男性】

年齢	移動率	年齢	移動率	年齢	移動率	年齢	移動率
0	0.9943	26	-0.0522	52	-0.0036	78	0.0062
1	0.0427	27	-0.0454	53	0.0116	79	0.0158
2	0.0081	28	-0.0402	54	0.0153	80	0.0073
3	0.0359	29	-0.0069	55	0.0014	81	0.0112
4	0.0062	30	-0.0413	56	0.0073	82	0.0035
5	0.0234	31	-0.0295	57	0.0019	83	-0.0190
6	-0.0186	32	0.0394	58	0.0045	84	-0.0180
7	0.0040	33	0.0171	59	0.0124	85	-0.0249
8	0.0111	34	0.0137	60	-0.0062	86	0.0082
9	0.0047	35	-0.0013	61	-0.0015	87	-0.0304
10	0.0027	36	0.0018	62	0.0048	88	-0.0402
11	0.0041	37	0.0078	63	0.0029	89	0.0052
12	-0.0124	38	-0.0182	64	0.0038	90	-0.0655
13	0.0023	39	-0.0041	65	0.0028	91	-0.0297
14	0.0075	40	0.0197	66	-0.0092	92	-0.1013
15	-0.0126	41	0.0030	67	0.0033	93	0.0231
16	0.0037	42	-0.0033	68	0.0001	94	0.1099
17	0.0088	43	0.0006	69	-0.0075	95	0.0561
18	0.0171	44	-0.0051	70	0.0090	96	-0.0297
19	0.0770	45	0.0022	71	-0.0051	97	0.0885
20	0.0016	46	-0.0021	72	0.0105	98	0.1898
21	0.0248	47	0.0061	73	0.0109	99	0.2307
22	-0.0599	48	0.0002	74	0.0061	100～	0.5917
23	-0.0366	49	-0.0010	75	-0.0139		
24	-0.0657	50	-0.0032	76	0.0037		
25	-0.0420	51	0.0072	77	0.0078		

【女性】

年齢	移動率	年齢	移動率	年齢	移動率	年齢	移動率
0	1.0081	26	-0.0707	52	0.0064	78	0.0026
1	0.1146	27	-0.1245	53	-0.0040	79	0.0003
2	0.0377	28	-0.0488	54	-0.0005	80	-0.0014
3	-0.0206	29	-0.0583	55	0.0017	81	-0.0036
4	0.0332	30	0.0156	56	0.0091	82	-0.0040
5	0.0053	31	-0.0323	57	0.0128	83	-0.0229
6	0.0177	32	0.0146	58	-0.0037	84	-0.0070
7	-0.0001	33	-0.0246	59	0.0052	85	-0.0185
8	-0.0204	34	-0.0227	60	0.0104	86	-0.0250
9	0.0036	35	0.0067	61	-0.0045	87	-0.0150
10	-0.0112	36	-0.0151	62	-0.0042	88	0.0177
11	0.0024	37	0.0163	63	0.0023	89	-0.0037
12	0.0000	38	-0.0118	64	0.0070	90	0.0191
13	0.0081	39	-0.0056	65	0.0041	91	-0.0467
14	0.0001	40	0.0060	66	0.0033	92	-0.0265
15	-0.0036	41	0.0063	67	-0.0044	93	0.0058
16	0.0078	42	0.0024	68	-0.0029	94	0.0157
17	-0.0015	43	0.0028	69	0.0016	95	-0.0442
18	0.0331	44	0.0061	70	-0.0003	96	0.0387
19	0.1345	45	0.0004	71	-0.0059	97	-0.0914
20	-0.0103	46	0.0027	72	0.0006	98	0.0231
21	0.1774	47	-0.0059	73	0.0005	99	-0.0596
22	0.0514	48	0.0021	74	-0.0007	100～	0.8119
23	-0.0749	49	-0.0027	75	-0.0012		
24	-0.1203	50	-0.0007	76	-0.0003		
25	-0.1246	51	-0.0044	77	0.0121		

推計にあたっては、国勢調査人口と同様に40歳以下の転出超過部分を改善させる方向で推計します。

	設定条件
低位推計	現状維持
中位推計	40歳以下で転出超過（マイナスの年齢）となっている年齢の移動率が、2050年以降半減するよう、2025年以降5年ごとに1/10改善します（2029年⇒2030年から改善し2049年⇒2050年から半減）。
高位推計	40歳以下で転出超過（マイナスの年齢）となっている年齢の移動率が、2050年以降0（均衡）となるよう、2025年以降5年ごとに1/5改善します（2029年⇒2030年から改善し2049年⇒2050年から0）。

ウ その他の条件

(ア) 生残率

	設定条件
国勢調査人口	社人研の「日本の地域別将来推計人口（毛呂山町）」に使用されている、2020年から2025年の仮定値が一定であるとして使用します。
住民基本台帳人口	埼玉県の男女別、年齢別生残率を使用します。（令和2年都道府県生命表）

(イ) 人口性比（生まれてくる子どもの、男性と女性の割合）

	設定条件
国勢調査人口	社人研の「日本の地域別将来推計人口（毛呂山町）」に使用されている仮定値を使用します。
住民基本台帳人口	市町村の数値では、子どもの数が少なく、変動が大きくなることから埼玉県の性比を使用します。2018年から2022年の5年間の平均値を使用し、男：女 = 1.05544 : 1 となります。

(ウ) 0歳児の人口

	設定条件
住民基本台帳人口	0歳児には封鎖人口がないことから、4月から3月の1年間の出生数と4月1日の0歳児の実数の変化割合により算出します。 2018年度から2022年度の5年間の男女別平均値を使用します。

(エ) 100歳以上の人口

	設定条件
住民基本台帳人口	100歳以上の人口は、99歳以上人口の100歳以上人口への変化率を使用します。移動率同様、2019年4月を基準に、2023年4月までの男女別平均値を使用します。

（注）各種計算においては端数がある場合があり、表面上の数値で計算しても一致しない場合がある。

(5) 推計方法のまとめ

ア 国勢調査基準

推計値	項目	推計に対する考え方
基準推計	合計特殊出生率	2022年の毛呂山町合計特殊出生率 0.68 を子ども女性比に換算して推計
	移動率	推計条件イ ー (ア) の移動率を使用
低位推計	合計特殊出生率	推計条件アの合計特殊出生率 (低位推計) を子ども女性比に換算して推計
	移動率	推計条件イ ー (ア) の移動率を使用 (現状維持)
中位推計	合計特殊出生率	推計条件アの合計特殊出生率 (中位推計) を子ども女性比に換算して推計
	移動率	推計条件イ ー (ア) の移動率の内、30~34→35~39 歳以下で転出超過 (マイナスの年齢) となっている年齢層の移動率が、2050 年以降半減するよう、2030 年以降 5 年ごとに 1/10 改善する (2030 年⇒2035 年から改善し 2050 年以降半減)。
高位推計	合計特殊出生率	推計条件アの合計特殊出生率 (高位推計) を子ども女性比に換算して推計
	移動率	推計条件イ ー (ア) の移動率の内、30~34→35~39 歳以下で転出超過 (マイナスの年齢) となっている年齢層の移動率が、2050 年以降 0 (均衡) となるよう、2030 年以降 5 年ごとに 1/5 改善する (2030 年⇒2035 年から改善し 2050 年以降 0)。

イ 住民基本台帳基準

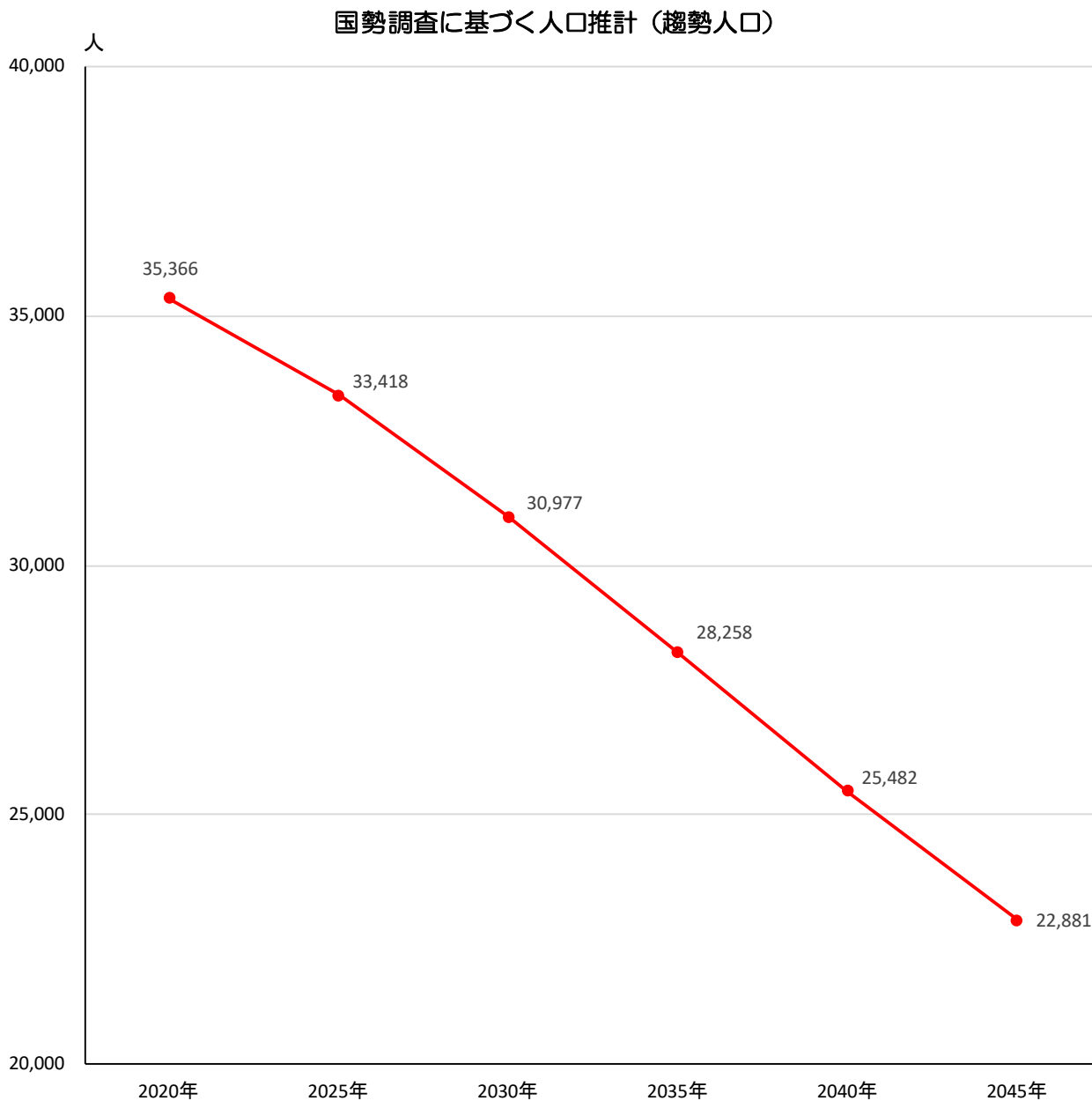
推計値	項目	推計に対する考え方
基準推計	合計特殊出生率	2022年の毛呂山町合計特殊出生率 0.68 により推計
	移動率	推計条件イ ー (イ) の移動率を使用 (現状維持)
低位推計	合計特殊出生率	推計条件アの合計特殊出生率 (低位推計) を使用
	移動率	推計条件イ ー (イ) の移動率を使用 (現状維持)
中位推計	合計特殊出生率	推計条件アの合計特殊出生率 (中位推計) を使用
	移動率	推計条件イ ー (イ) の移動率の内、40 歳以下で転出超過 (マイナスの年齢) となっている年齢の移動率が、2050 年以降半減するよう、2025 年以降 5 年ごとに 1/10 改善する (2029 年⇒2030 年から改善し 2049 年⇒2050 年から半減)。
高位推計	合計特殊出生率	推計条件アの合計特殊出生率 (高位推計) を使用
	移動率	推計条件イ ー (イ) の移動率の内、40 歳以下で転出超過 (マイナスの年齢) となっている年齢の移動率が、2050 年以降 0 (均衡) となるよう、2025 年以降 5 年ごとに 1/5 改善する (2029 年⇒2030 年から改善し 2049 年⇒2050 年から 0)。

(6) 推計結果

ア 国勢調査人口

(単位:人)

	2020	2025	2030	2035	2040	2045
趨勢人口	35,366	33,418	30,977	28,258	25,482	22,881

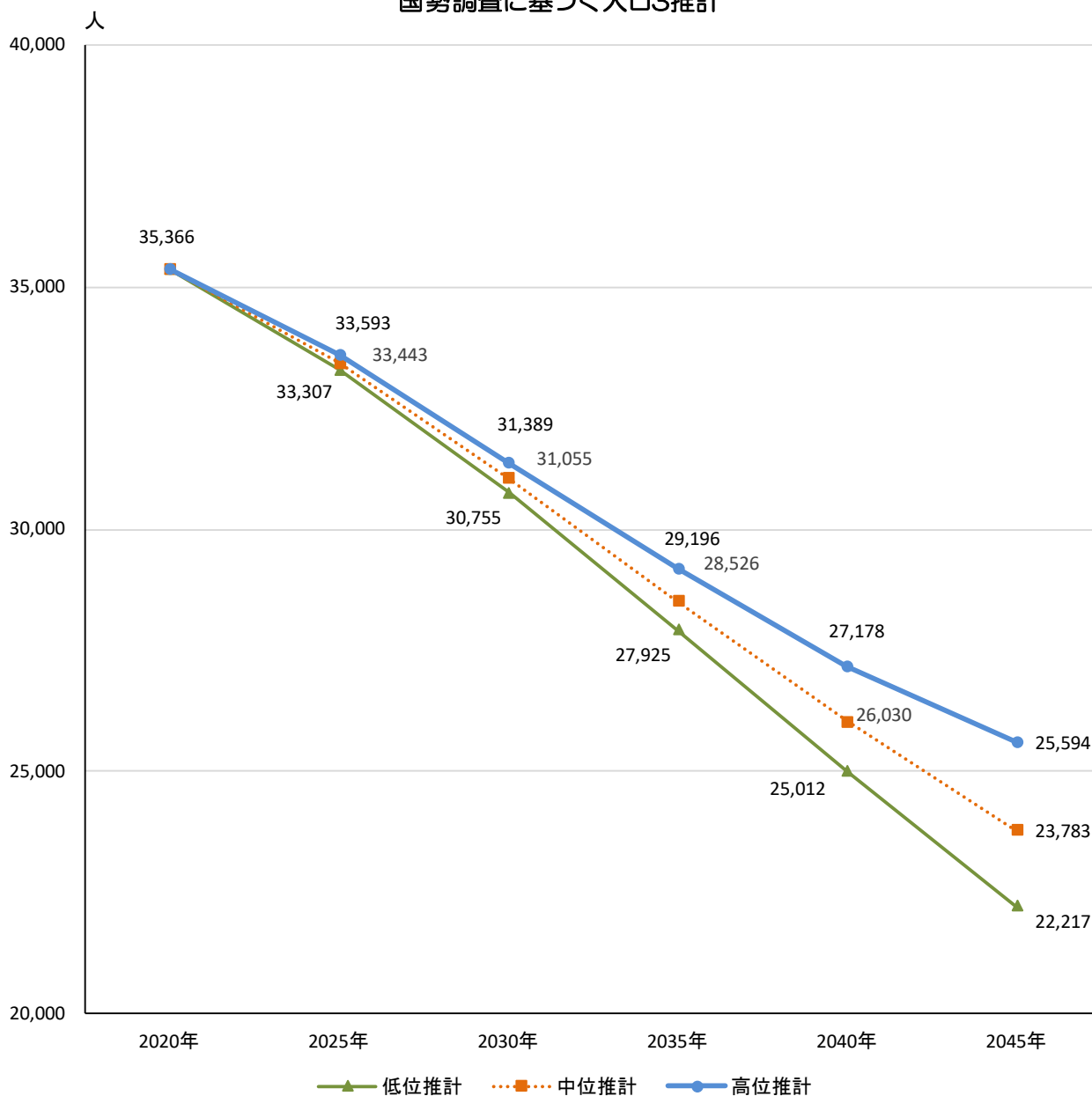


2022年の合計特殊出生率で推移するとした国勢調査基準(趨勢人口)では、2020年の35,366人から、25年後の2045年には、22,881人(64.7%)と推計されました。

(単位：人)

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
低位推計	35,366	33,307	30,755	27,925	25,012	22,217
中位推計	35,366	33,443	31,055	28,526	26,030	23,783
高位推計	35,366	33,593	31,389	29,196	27,178	25,594

国勢調査に基づく人口3推計

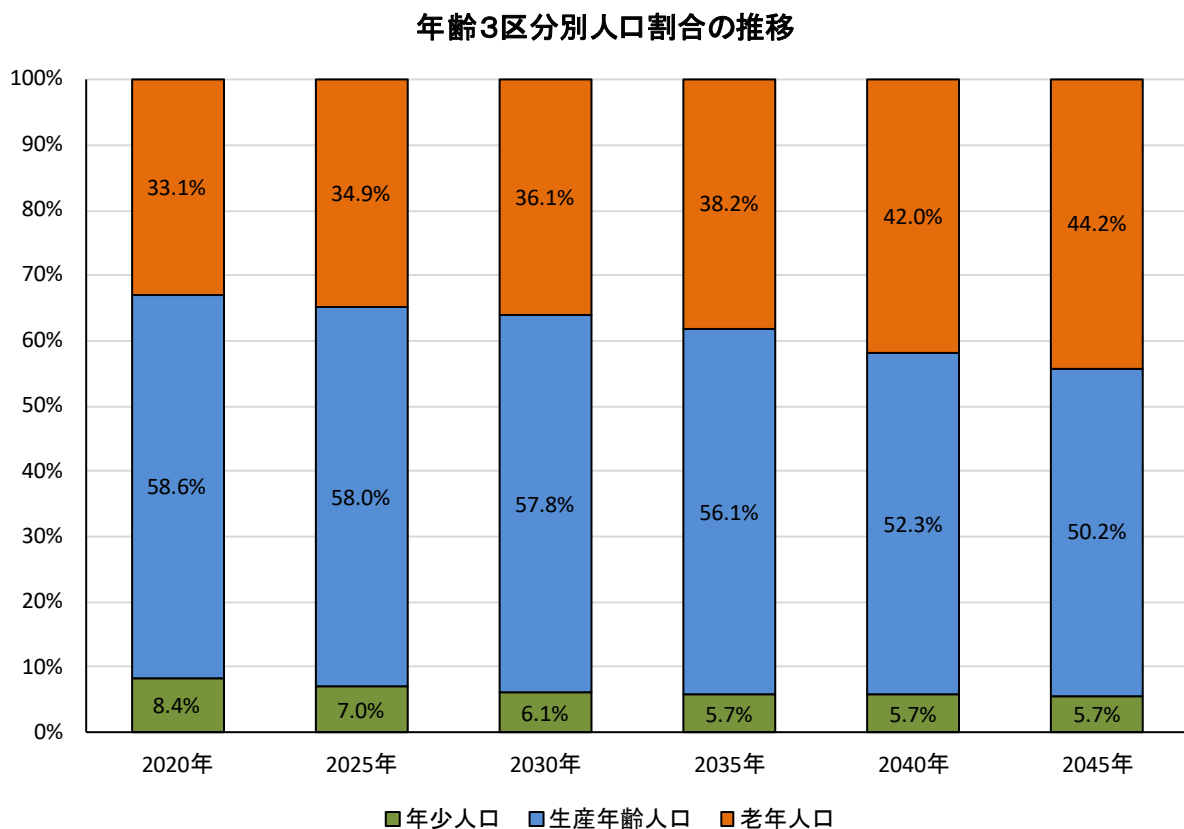
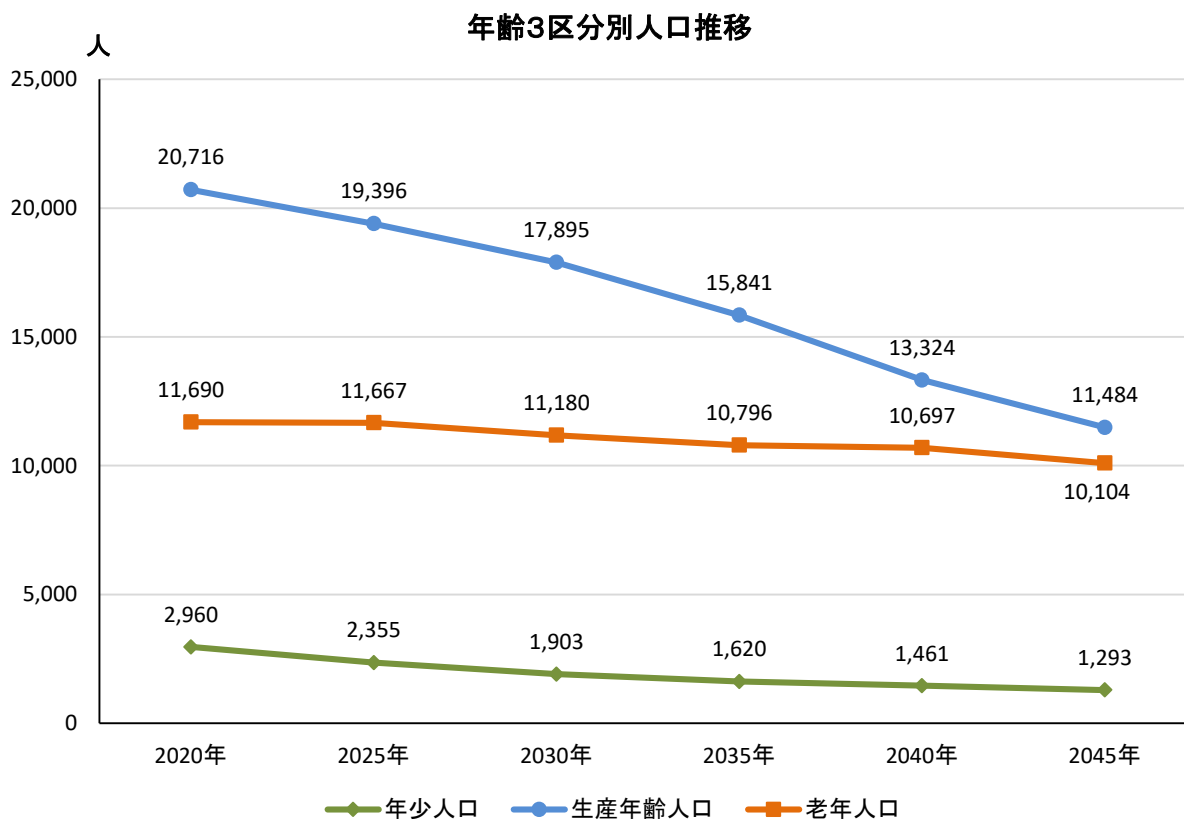


国勢調査基準では、2020年の35,366人から、25年後の2045年には、最も低い推計で22,217人(62.8%)、中位推計で23,783人(67.2%)、高位推計で25,594人(72.4%)と推計されました。

合計特殊出生率が1を上回り、若年層の移動率が改善される最も高い推計であっても、2020年から約28%減少すると推計されます。

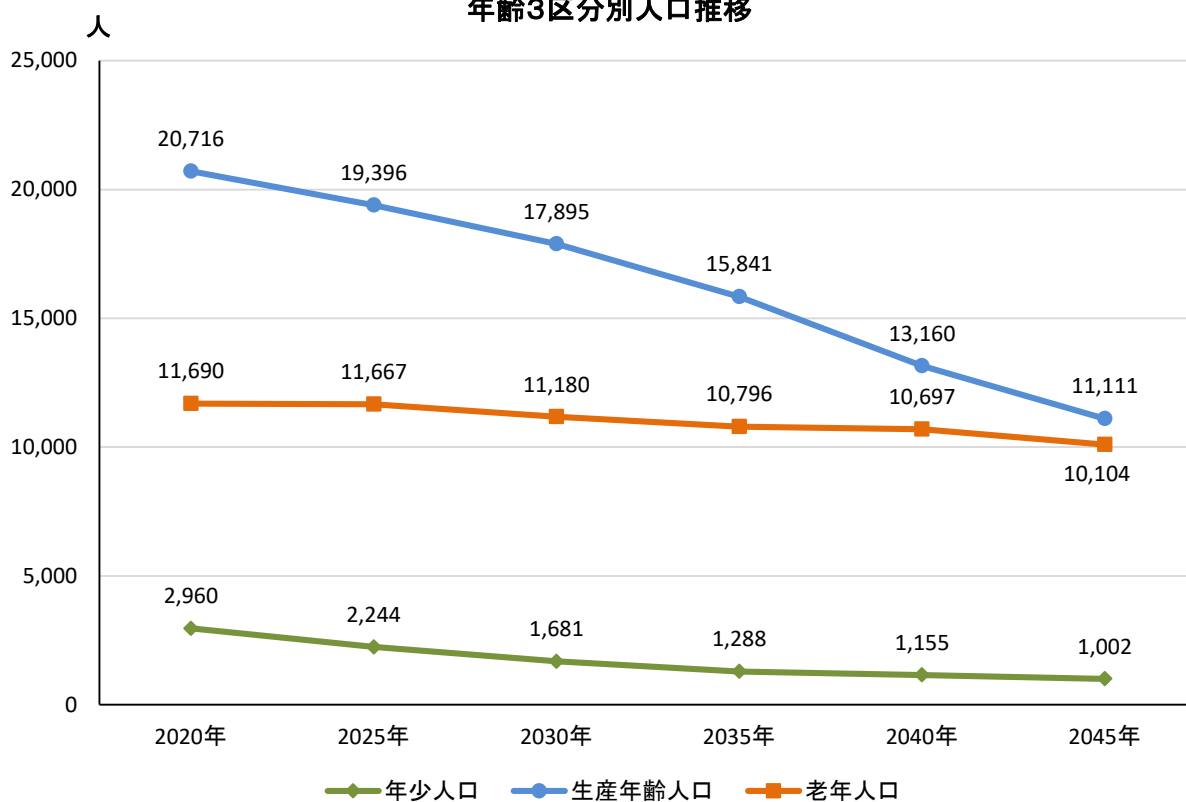
年齢3区分別人口推計（国勢調査人口）

【趨勢人口】

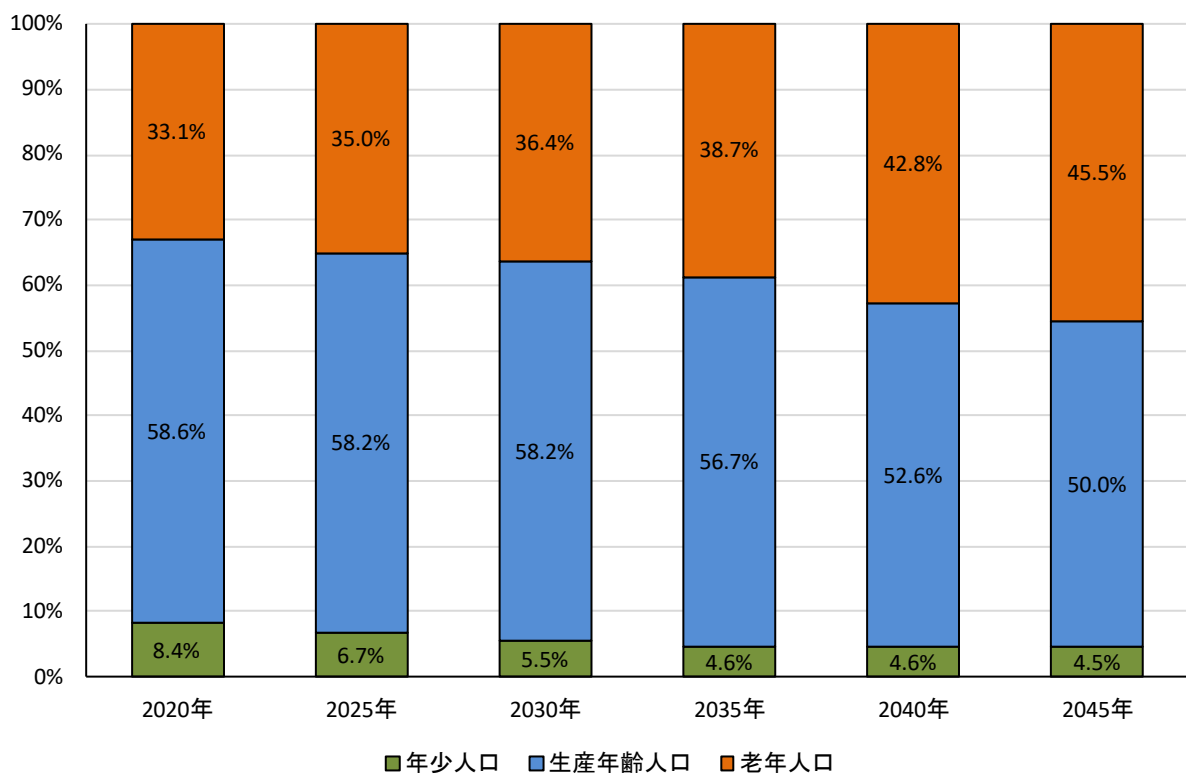


【低位推計】

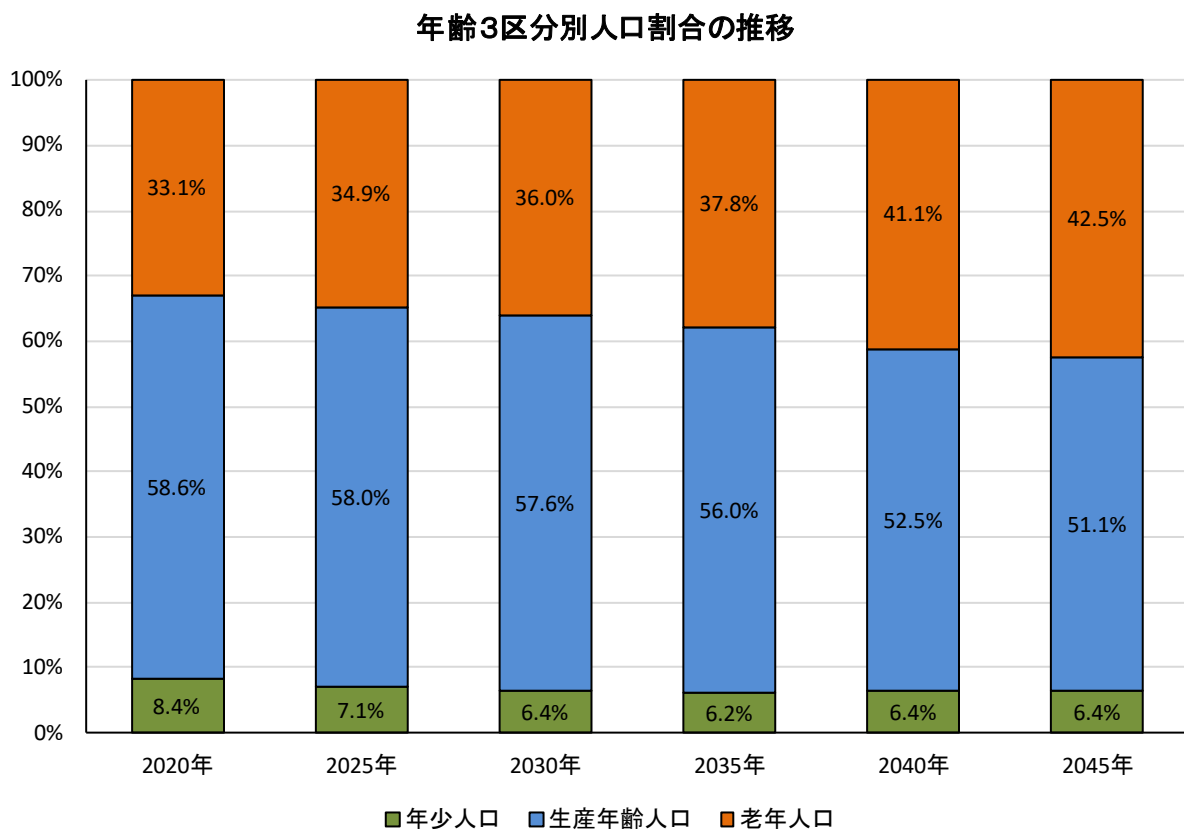
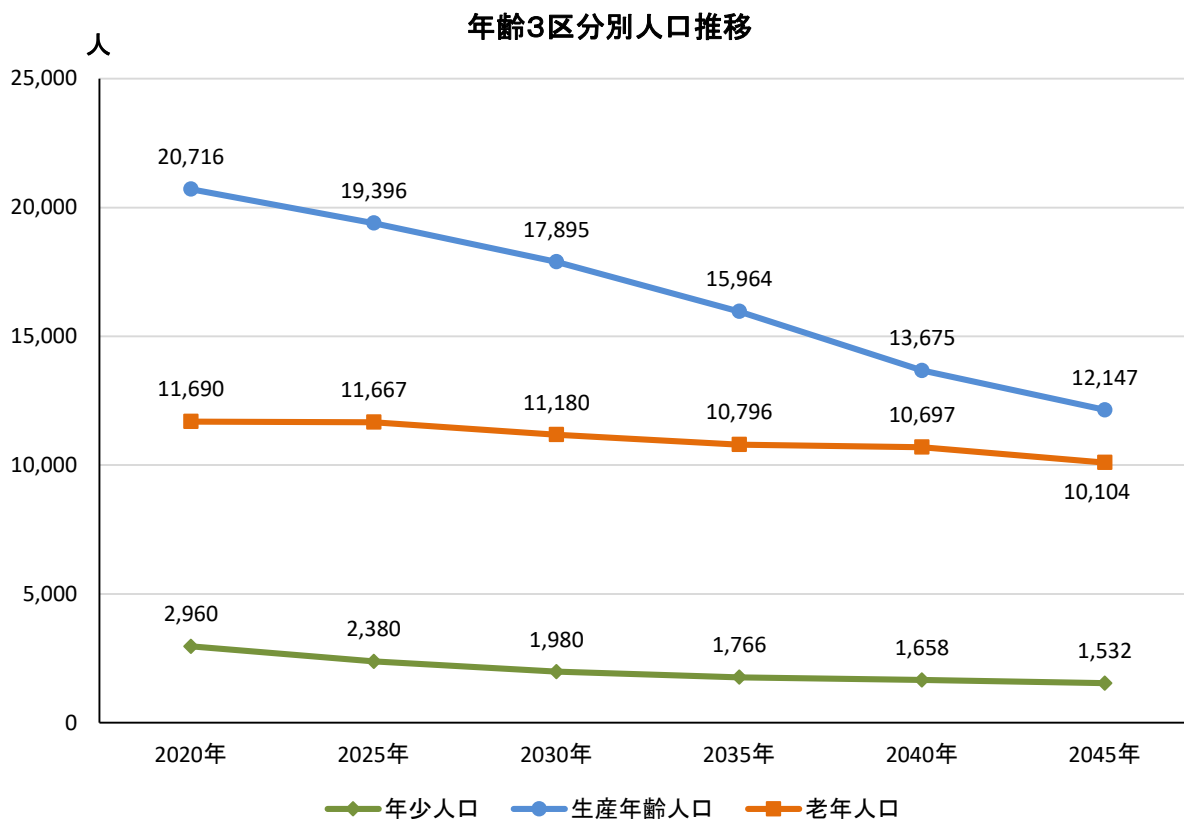
年齢3区分別人口推移



年齢3区分別人口割合の推移

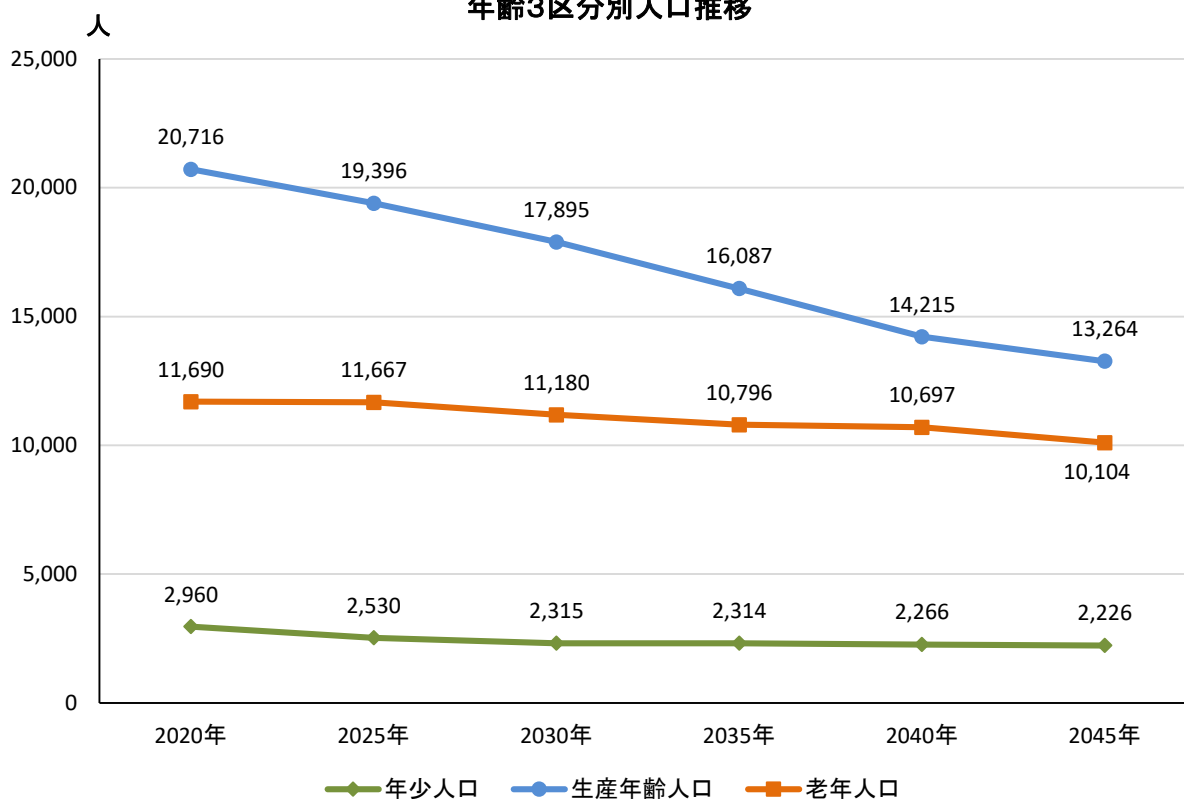


【中位推計】

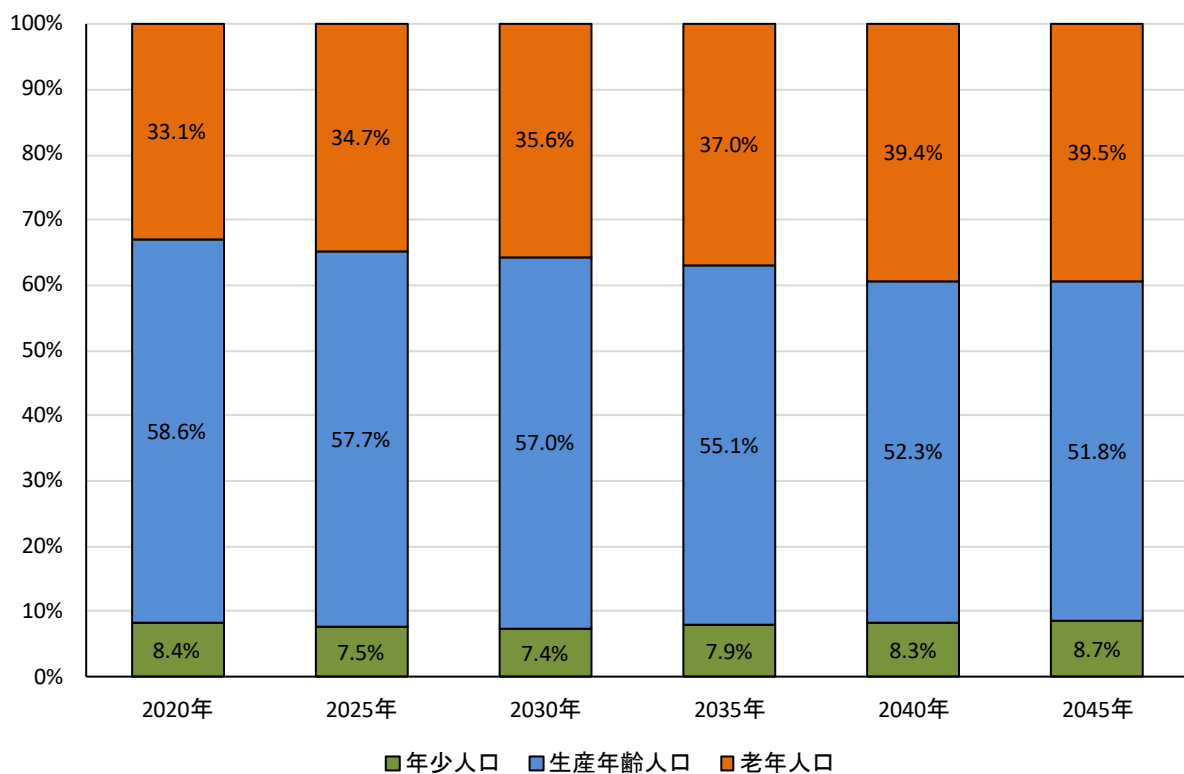


【高位推計】

年齢3区分別人口推移



年齢3区分別人口割合の推移

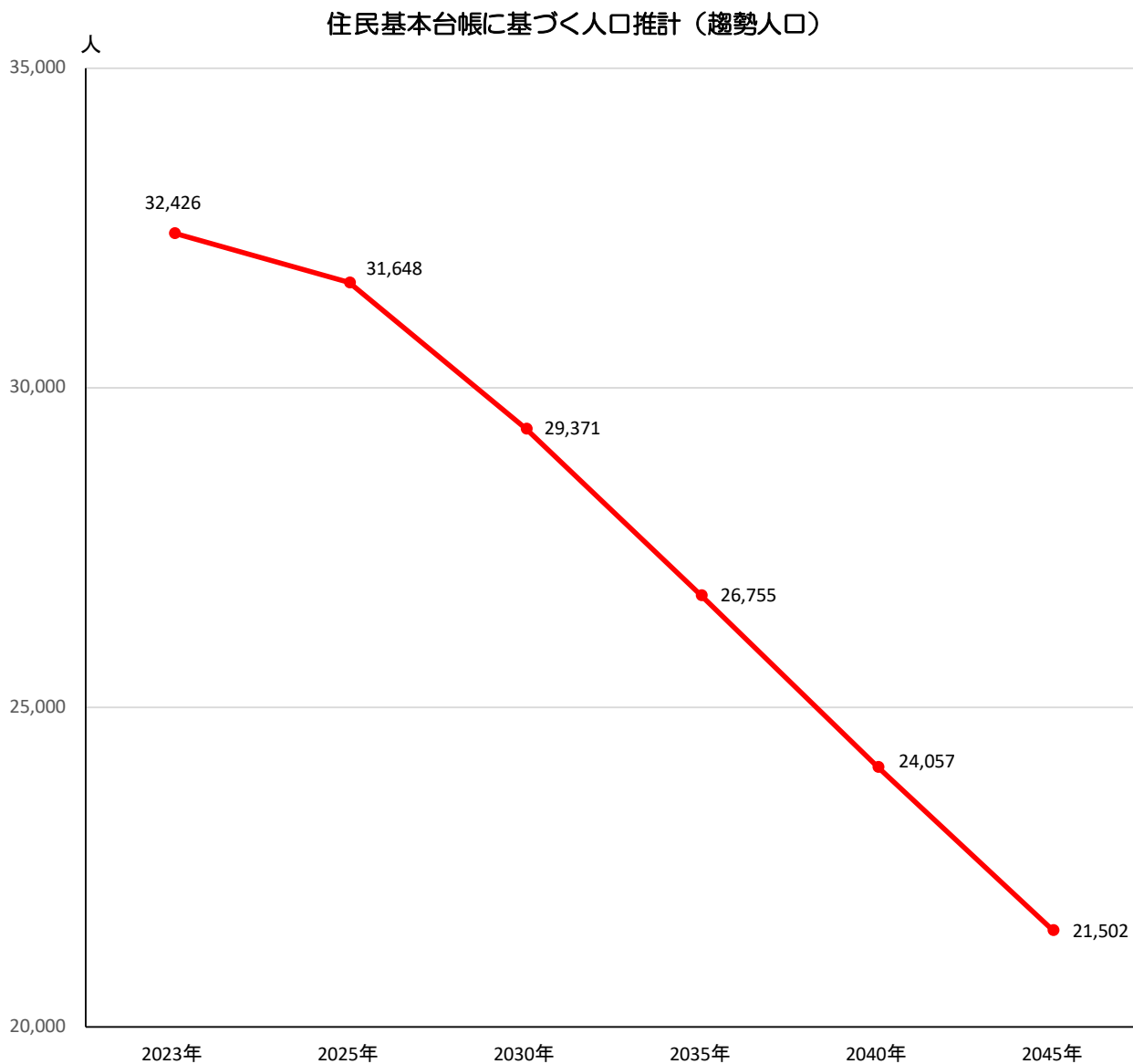


イ 住民基本台帳基準

(単位：人)

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
趨勢人口	33,345	31,648	29,371	26,755	24,057	21,502

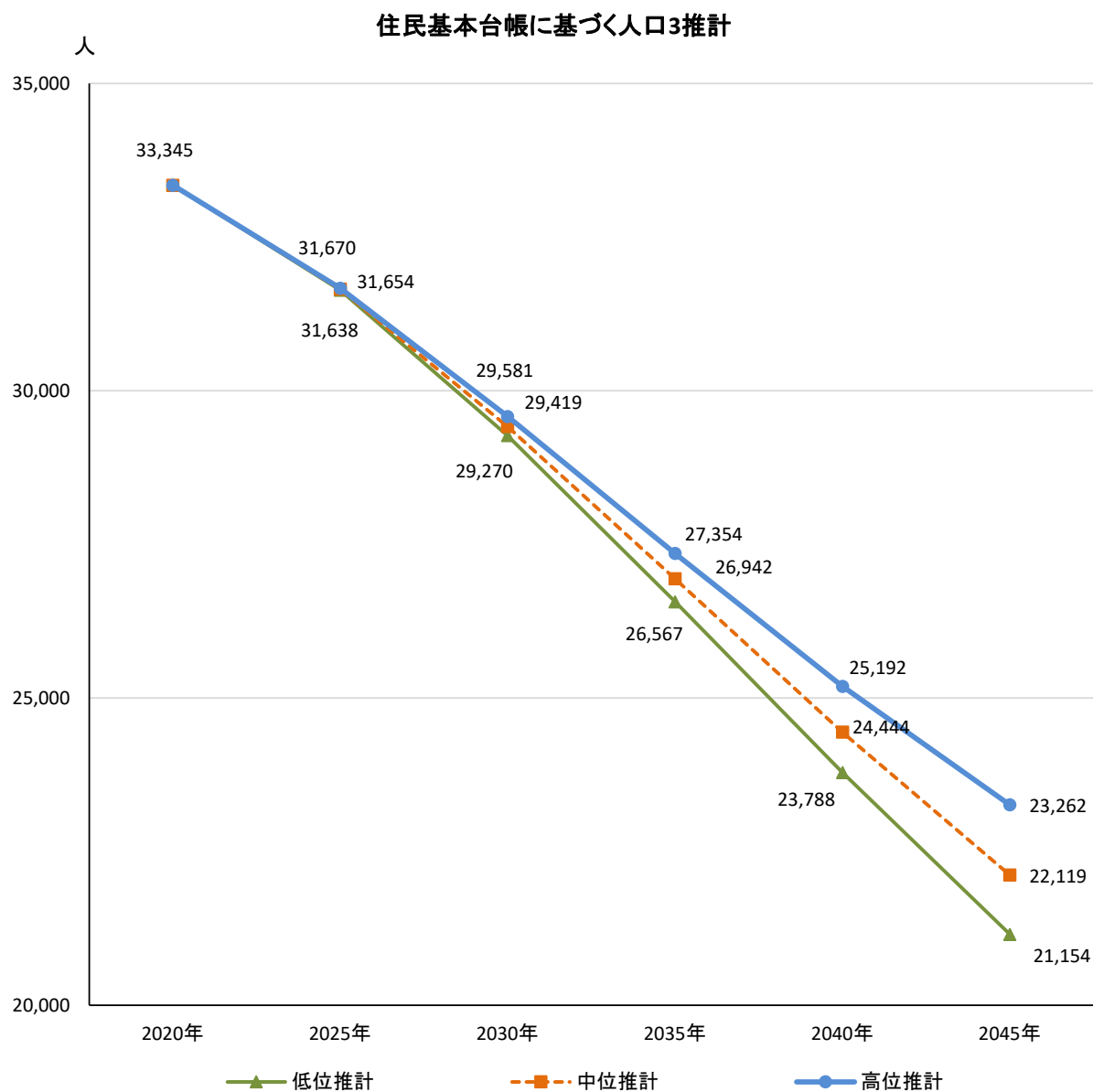
【5年ごと】



2022年の合計特殊出生率で推移するとした住民基本台帳基準（趨勢人口）では、2020年の33,345人から、25年後の2045年には、21,502人（64.5%）と推計されました。

(単位：人)

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
低位推計	33,345	31,638	29,270	26,567	23,788	21,154
中位推計	33,345	31,654	29,419	26,942	24,444	22,119
高位推計	33,345	31,670	29,581	27,354	25,192	23,262

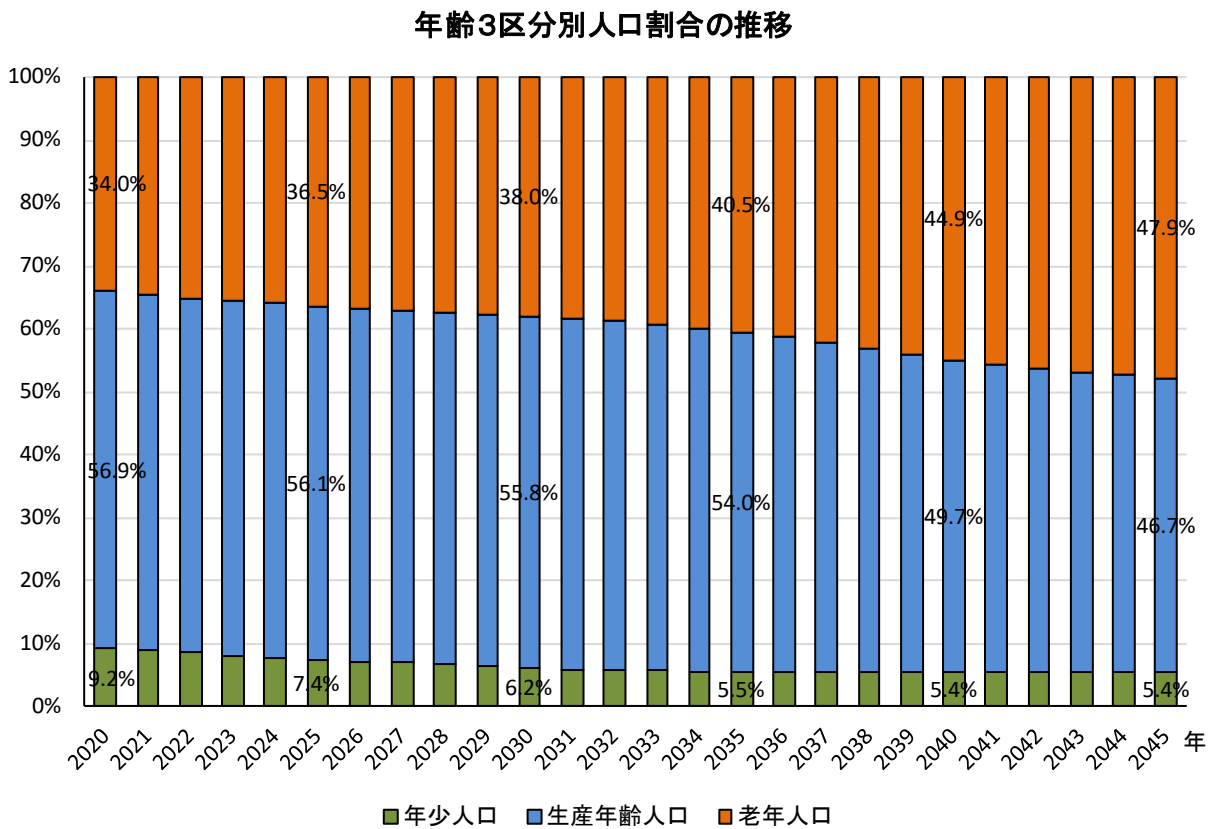
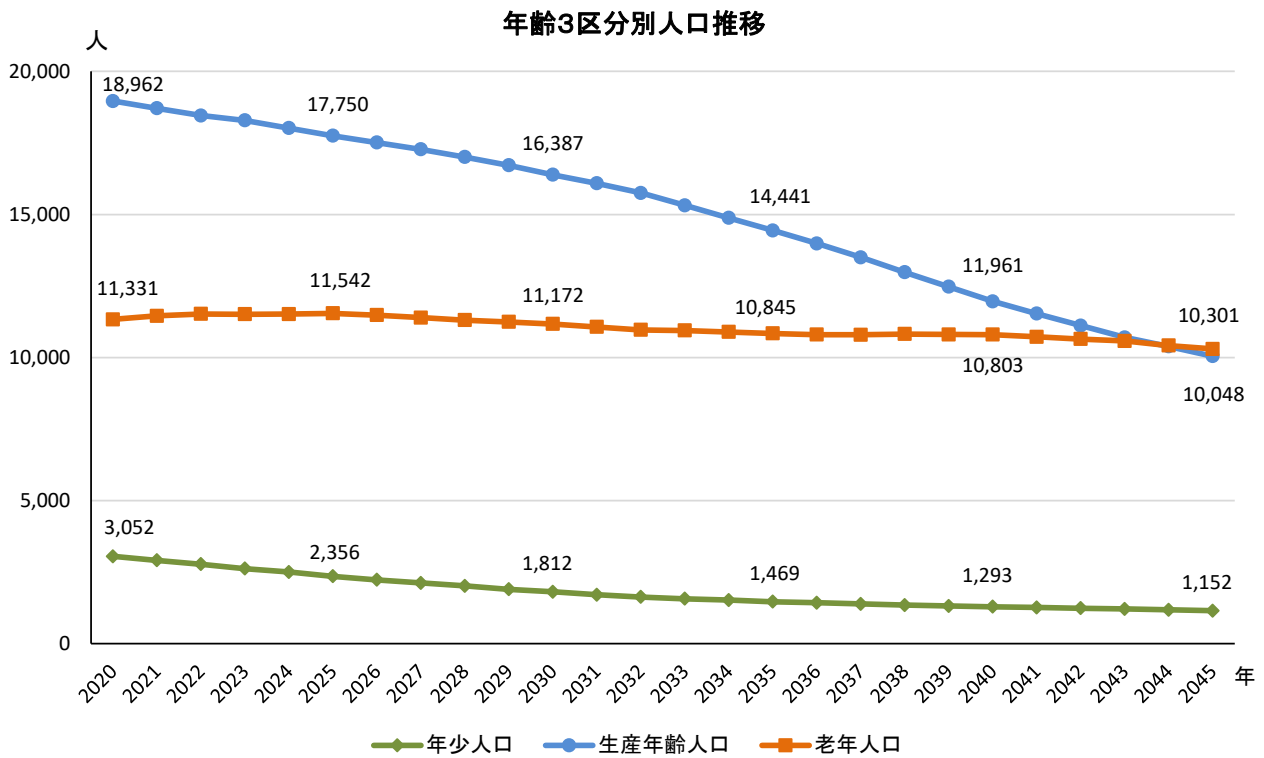


住民基本台帳基準では、2020年の33,345人から、25年後の2045年には、最も低い推計で21,154人(63.4%)、中位推計で22,119人(66.3%)、高位推計で23,262人(69.8%)と推計されました。

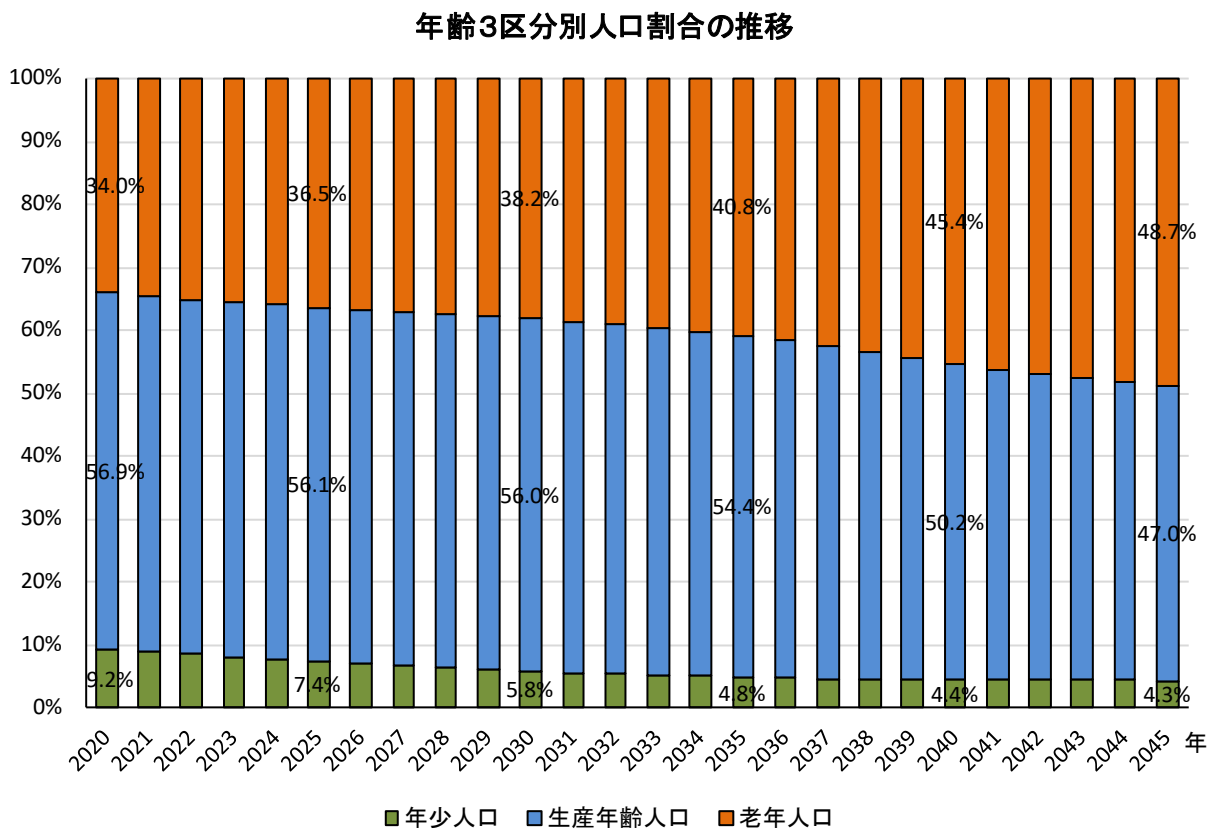
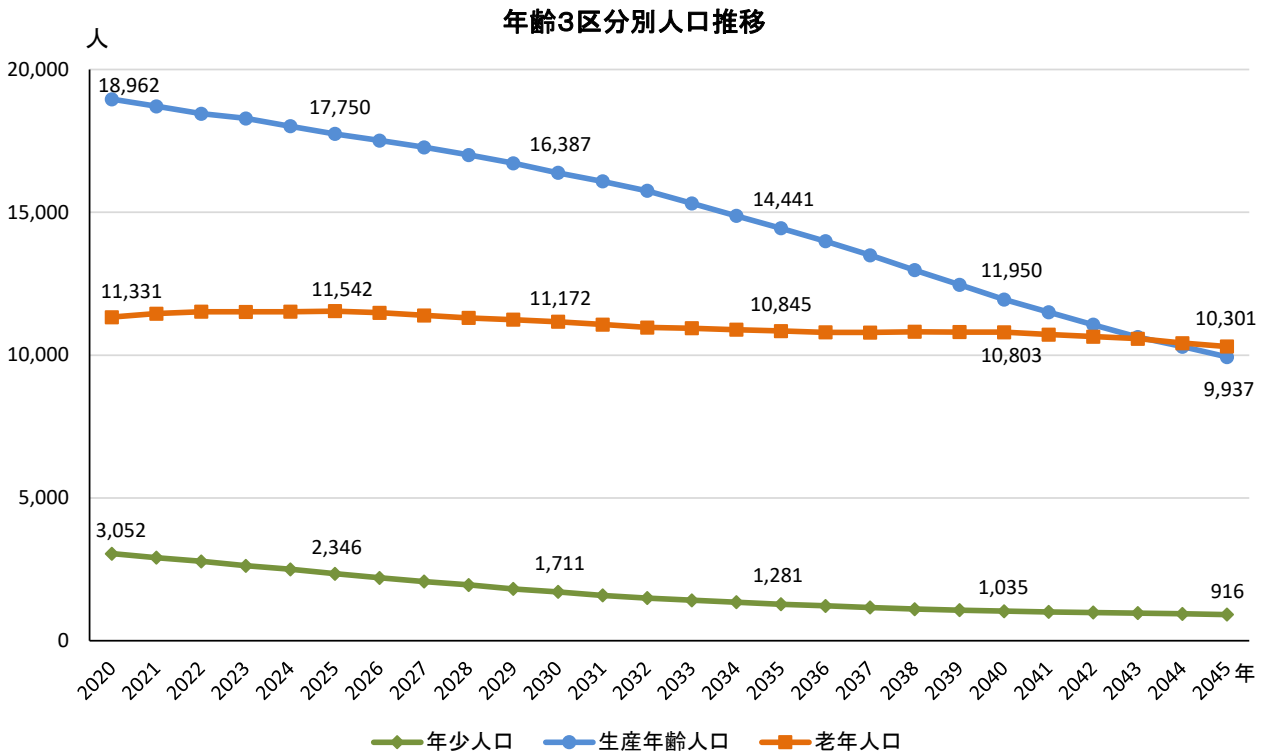
合計特殊出生率が1を上回り、若年層の移動率が改善される最も高い推計であっても、2020年から約30%減少すると推計されます。

年齢3区分別人口推計（住民基本台帳人口）

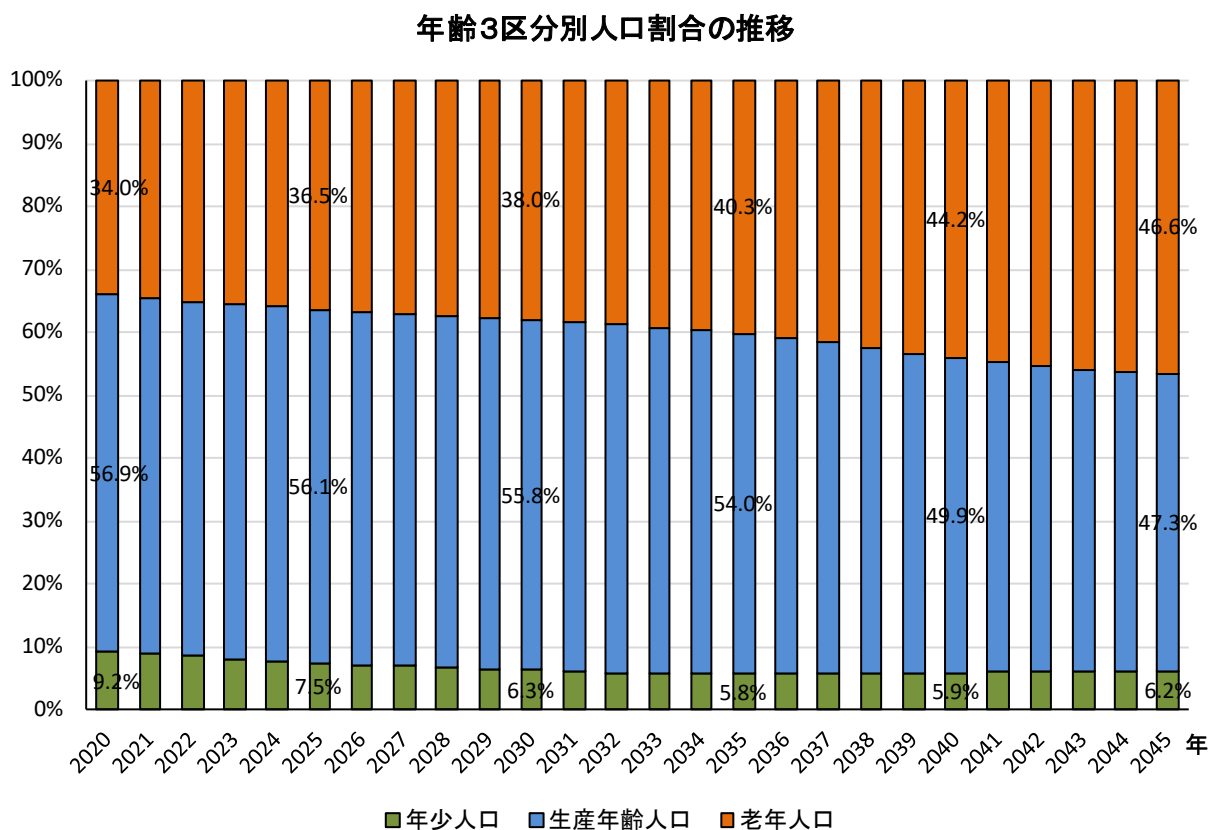
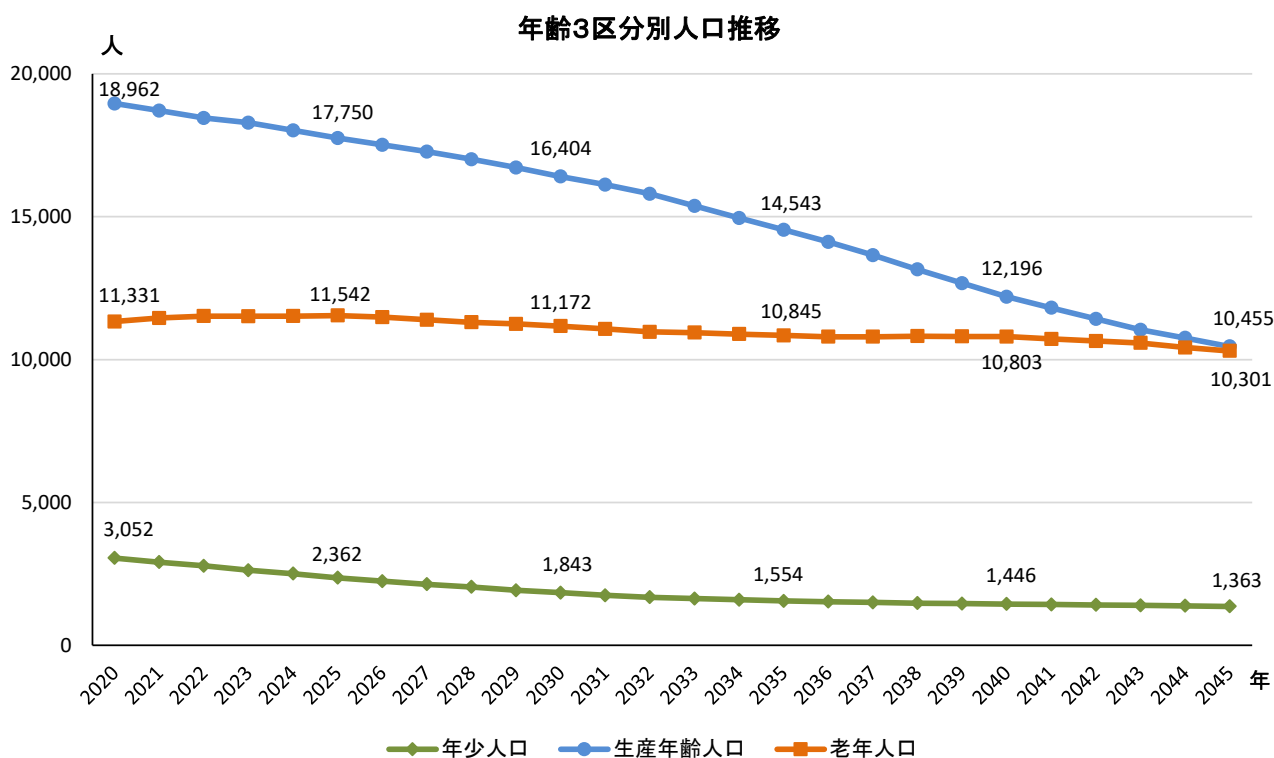
【趨勢人口】



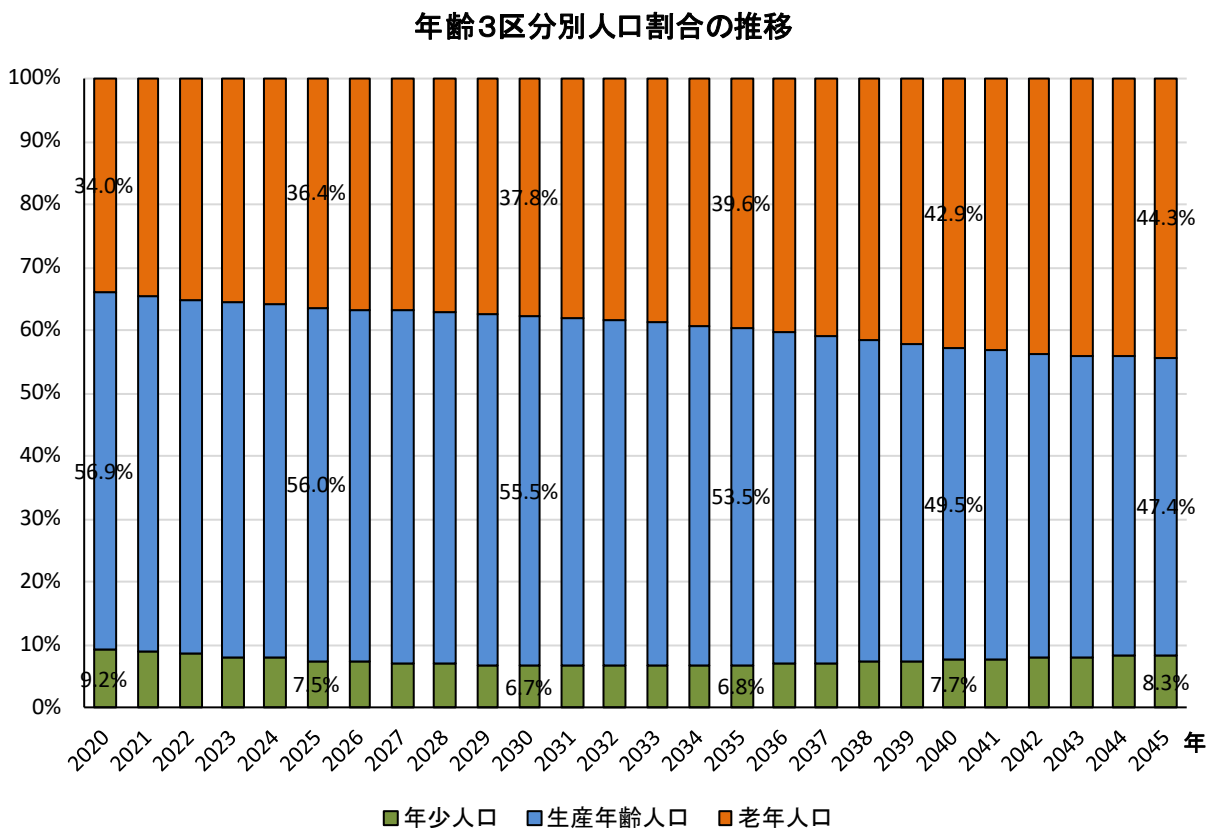
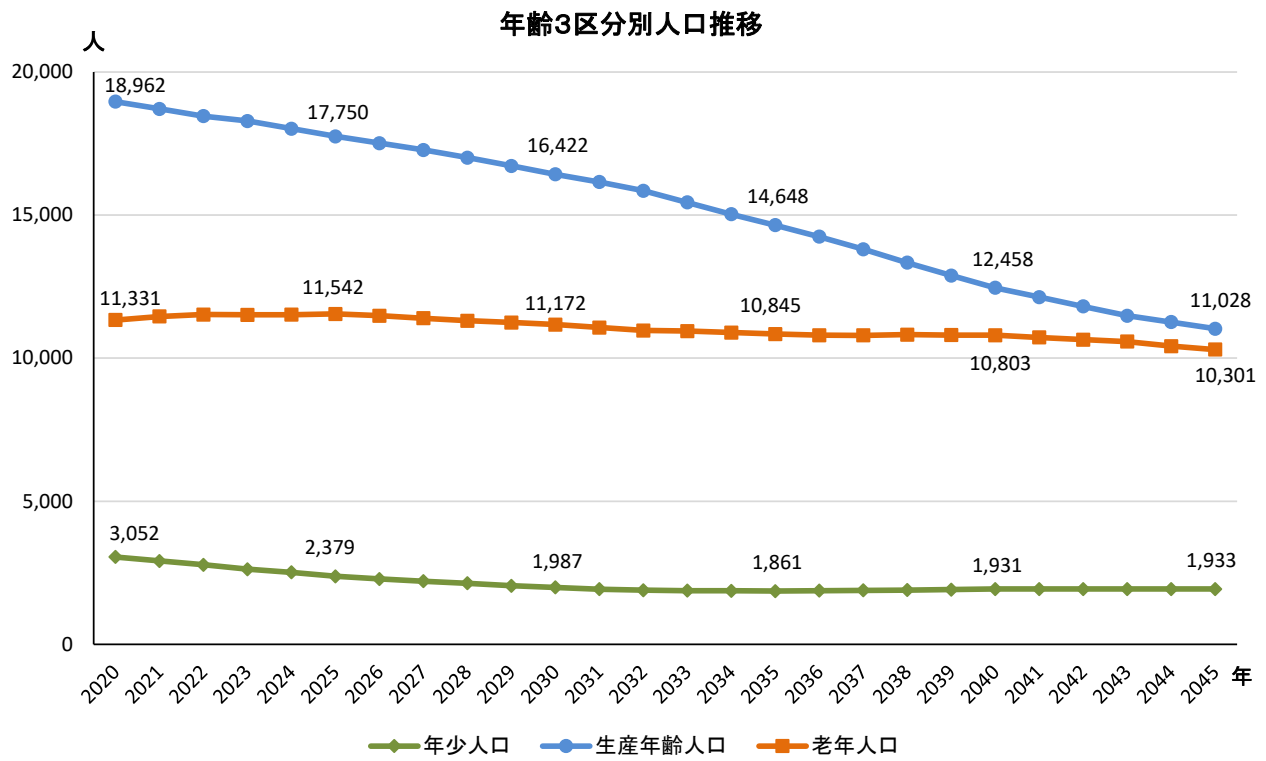
【低位推計】



【中位推計】



【高位推計】



(7) 住民基本台帳基準による出生数の推移

住民基本台帳基準による推計に基づく各年度別の出生数は以下のとおりとなります。

(単位：人)

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
基準推計	90	89	87	84	82	82	82	80
低位推計	85	84	70	68	66	66	65	64
中位推計	93	91	91	89	87	86	85	89
高位推計	101	99	115	112	110	109	108	117

	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度	2035年度	2036年度	2037年度	2038年度
基準推計	79	78	76	74	72	70	69	67
低位推計	63	62	61	60	57	56	55	53
中位推計	87	87	85	84	84	83	82	80
高位推計	115	115	114	113	116	116	116	114

	2039年度	2040年度	2041年度	2042年度	2043年度	2044年度	2045年度
基準推計	65	63	61	59	56	53	51
低位推計	51	49	48	46	44	42	40
中位推計	78	76	75	73	70	68	66
高位推計	112	112	111	110	108	105	104

※ 基準推計は、趨勢人口を算出するための推計です。

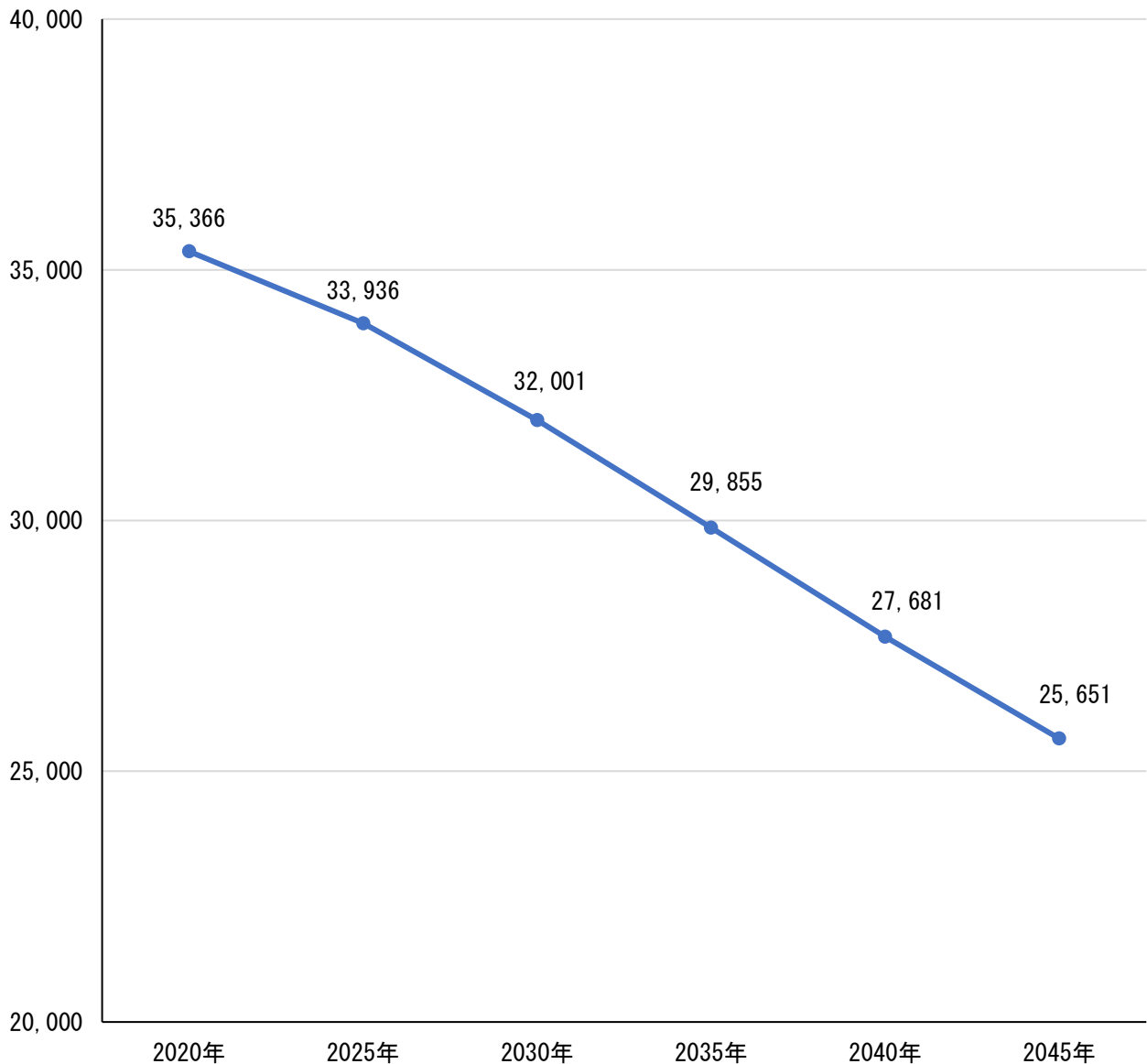
(8) 日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）

社人研が推計した毛呂山町の将来推計人口は、以下のとおりです。

（単位：人）

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
社人研推計	35,366	33,936	32,001	29,855	27,681	25,651

社人研推計（単位：人）



社人研の推計値は、今回毛呂山町が推計した国勢調査人口及び住民基本台帳人口の数値よりも高く推計されています。

今回の毛呂山町における人口ビジョンは、現実的な推計値を採用するという考えのもと、社人研の推計値は使用せず、参考として掲載します。